

北海道立農業試験場報告

第57号

秋播小麦の栄養生理と窒素肥培
管理法に関する研究

昭和61年 7 月

北海道立北見農業試験場
(099—14 北海道常呂郡訓子府町)

序

本報告には，技術吏員 下野勝昭の提出した「秋播小麦の栄養生理と窒素肥培管理法に関する研究」の成績を登載した。

昭和61年7月

北海道立北見農業試験場長

後 木 利 三

秋播小麦の栄養生理と窒素肥培管理法に関する研究*

技術吏員 下 野 勝 昭**

目 次

第1章 緒 論	1
第2章 北海道における主要品種の栄養生理的特性と生産性の歴史の変遷	3
2-1 既往の知見	3
2-2 実験方法および結果	9
2-2-1 新旧品種・系統の栄養生理的特性・生産性の変遷	9
2-2-2 品種間の乾物生産、窒素吸収特性の比較	13
2-2-3 品種・育成系統間の葉面積指数、葉の形態特性の比較	13
2-2-4 品種・育成系統間の登熟期間における穂、葉、茎の生育特性の比較	15
2-2-5 品種・育成系統間の施与窒素反応性の比較	19
2-3 論 議	20
第3章 北海道の基幹品種に対する高収のための合理的な窒素施与法	24
3-1 既往の知見	24
3-2 実験方法および結果	25
3-2-1 秋季・基肥窒素の施与位置と肥効の関係	25
(1) 施与位置が施与窒素の挙動に及ぼす影響	25
(2) 窒素施与量・位置が初期生育に及ぼす影響	26
(3) 窒素施与位置が生育、収量に及ぼす影響	27
3-2-2 窒素施与時期と肥効の関係	28
(1) 窒素追肥時期が生育、収量に及ぼす影響	28
(2) 基肥窒素と越冬後追肥窒素の施与配分が生育、収量に及ぼす影響	30
3-3 論 議	32
第4章 北海道・網走地方における生育環境特性とそれに対応した合理的な窒素施与法	35
4-1 既往の知見	35
4-2 実験方法および結果	36